

誓いの言葉

ここに集いし二十歳を迎えた一同を代表して、御礼と誓いの言葉を申し上げます。はじめに、本日はこのような盛大な式典を開いてくださり、誠にありがとうございます。また、先ほどは上田市教育委員会 酒井 秀樹 教育長をはじめ、多くの皆様からお祝いや激励のお言葉を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

私たちが今日、二十歳という門出を迎えることができましたのは、温かく見守ってくださった地域の皆様、私たちを導き、ご指導いただいた先生方、幼いころから多くの時間を過ごしてきた仲間たち、そして、一番近くで支え、育てくれた家族のおかげであると心から感謝いたします。

いま私たち二十歳となった世代には、すでに将来の夢をはっきり見据え、それに向かって日々奮闘している人もいれば、自分が何をしたいのか分からず、不安を抱えながらもがいている人もいると思います。かく言う私は後者であり、海外への留学経験を積みたい思いから一浪までさせてもらい通い始めた大学ではあるものの、現在は勢いで入ったアメリカンフットボールの部活動にほとんどの時間を費やしています。

日々、充実した時間を過ごしていると感じている一方、これで良いのかと自分自身に問いかけることもあります、未だ答えを出すことができていません。

ただ、こうした不安や葛藤から逃げず、正面から向き合うことが、大人としてやらなければならぬことなのではないかと思います。

私の偏見かもしれません、多くの方は年を重ねるにつれ「安定」や「普通」が正解だと押し付けられ、本当にやりたい事を諦めることが多いように感じます。

しかし、その圧に流されて自分を見失ってしまっては、それは成功でも幸せでもないと思います。「安定」や「普通」がいけないということではありません。大事なのは自分の決めた選択に責任を持ち努力し、自分なりの正解を見つけることじゃないでしょうか。

これはつまり、自らが自分の人生のベストコンダクターになるということです。

そうは言っても、これからそれが選んだ道で挫折することがあると思います。

私はそんな時、ここにいる地元の仲間やこれまで出逢ってきた友人、恩師や両親といった味方がいることを忘れず頑張っていきます。そして皆さんにも私を含めそれぞれ味方がいることを忘れないで下さい。

私たちは、何者でもありません。だからこそ、何者にもなれると思います。

私はこれからも仲間と共に学び、挑戦し続け成長し他人と比べることなく、昨日の自分より一步でも前に進める大人になることをここに誓います。

最後になりますが、本日ご列席いただいた来賓各位及び関係者の皆様、そして二十歳を祝う式の開催にあたり、ご尽力いただいた真田地域教育事務所の皆様に深く感謝を申し上げ、簡単ではございますが、誓いの言葉とさせていただきます。

令和8年1月11日

真田中央公民館

(真田・菅平中学校区域)

代表 三井 秀亮